

百万塔陀羅尼の研究

- ・藤原貞幹1795(寛政7年)『好古小録』……江戸後期
- ・平子鐸嶺1908(明治41年)『百萬小塔肆攻』平子尚 東京
- ・禿氏祐祥1933(昭和8年)『百萬塔陀羅尼考證』泉山堂 京都
- ・大屋徳城1937(昭和12年)『寧楽仏教史論』
 - ・戦後まもなく、日本印刷学会西部支部が中心となり研究開始
 - ・1981(昭和56年)『法隆寺昭和資料帳』編集開始
- ・中根勝 編著1987(昭和62年)『百万塔陀羅尼の研究』其刊行委員会八木書店

陀羅尼経について



版

- ・素材(木版・銅板・それとも…)
- ・版面(1つのお経が1つの版に、それとも…並べ方は?)
- ・刷り方(押捺式・摺刷式)
- ・インク付けの方法(刷毛・タンポ・それとも…)

墨

- ・原料

紙

- 本紙
- 表紙
- 包紙
- ・原料
- ・漉き方
- ・染め方(黄檗)
- ・表面加工の方法
- ・本紙・表紙の接着剤

内容

- ・なぜ書くのではなく刷ったのか
- ・なぜ『無垢浄光大陀羅尼経』から4種が選ばれたのか
- ・なぜ六度陀羅尼だけが極端に少ないのか